

平成 27 年第 1 回 高山市議会定例会 一 般 質 問

◎一般質問の順序

月 日	議 員 名	会 派 名	ページ
3月9日(月)	1. 倉田博之 議員	新 風 会	1
	2. 車戸明良 議員	新 風 会	3
	3. 木本新一 議員	新 風 会	4
	4. 橋本正彦 議員	新 風 会	5
	5. 中田清介 議員	新 風 会	6
	6. 藤江久子 議員	新 風 会	7
3月10日(火)	1. 谷澤政司 議員	新 風 会	8
	2. 若山加代子 議員	無 会 派	9
	3. 松山篤夫 議員	無 会 派	11
	4. 山腰恵一 議員	高山市議会公明党	12
	5. 中箴博之 議員	高山市議会公明党	13
	6. 渡辺甚一 議員	高山市政クラブ	14
3月11日(水)	1. 松葉晴彦 議員	高山市政クラブ	15
	2. 今井武男 議員	高山市政クラブ	17
	3. 岩垣和彦 議員	市民ネット	18
	4. 小井戸真人 議員	市民ネット	19

◎質問時間等については以下のとおりです。

議員の質問のみで40分。質問回数は制限なし。

※ 反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

◎一般質問の内容は次のとおり通告されています。

【倉 田 博 之 議員】

1. 伝統的工芸品産業の振興と育成について

(1) 高山ブランドと伝統的工芸品産業

①高山市における伝統的工芸品産業の位置づけは

(2) 伝統的工芸品における産業面の課題と対策

①販売額の減少に対する施策と支援については

②原材料の不足・高騰に対する施策と支援については

③組合活動の活性化に向けた対策と支援については

(3) 遺すべき伝統・文化・技術としての課題と対策

①他市で行っている、伝統工芸を伝える役割の公務員配置についてどう考えるか

②後継者・新進作家の育成に向けた対策と支援が必要では

③後継者育成を若者のまちなか定住と結びつける積極策は考えられないか

④旧森邸と旧図書館跡地に建設予定の施設を伝統的工芸品産業の振興と育成に活用できないか

(4) 伝統的工芸品産業の将来像と中長期的ビジョン

①伝統的工芸品産業の将来像をどのように描いているか

②描く将来像に向かって課題を解消していくための中長期的ビジョンが必要ではないか

2. 12月の大雪による文化財の被災について

(1) 被災文化財の修復

①被災状況の把握と整理の状況は

②修復計画と財政措置が必要では

(2) 文化財のリスクマネジメント

- ①文化財が被る可能性のある災害や文化財の状況を対象物ごとに把握・データ化して、事故の未然防止や計画的な修繕・補修・環境整備などに活用していく必要はないか

【車 戸 明 良 議員】

1. 地方創生の推進について

(1) 地方創生に関する取り組み

- ①これまでの取り組みの経緯は
- ②地方創生に対するスタンス・方向性は
- ③地方創生先行型の事業等にどのような効果を見込んで施策展開するのか
- ④今後の取り組みの課題とスケジュールは

(2) 地方人口ビジョン・総合戦略の策定

- ①国は地方総合戦略に何を求めているか
- ②第八次総合計画と地方人口ビジョン・総合戦略との関係は
- ③策定に向けての体制とスケジュールは
- ④担当部署を設置する考えは

(3) ふるさと納税

- ①地方創生に関連した税制改正の内容は
- ②ふるさと納税の現状と今までの取り組みは
- ③税制改正を機にした今後の推進は

【木 本 新 一 議員】

1. 人材育成について

(1) 職員の人材育成

- ①高山市第4次人材育成基本方針の考え方は

2. 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアについて

(1) 平成26年度の実績

- ①利用者数等の状況は
- ②エリア内道路の整備状況は

(2) 風評被害対策

- ①御岳山噴火に伴う風評被害の状況は
- ②風評被害払拭に向けた取り組みは

(3) 鈴蘭高原エリアの活用

- ①鈴蘭高原エリアを活用した地域の活性化に取り組むべきでは
- ②ジュニアクロスカントリー大会の今後は
- ③御岳エリアと鈴蘭高原エリアの連携は

(4) 今後の取り組み

- ①国・県・下呂市等との連携と役割分担は
- ②競技団体や日体協、JOCなどとの連携は
- ③施設整備に対する計画は
- ④総合調整窓口、通信環境、医科学サポート体制の整備は
- ⑤獣害防止の緩衝帯利用についてどう考えているか
- ⑥道の駅やコンビニのような売店が必要ではないか
- ⑦PPP（公民連携）を活用した取り組みができないか
- ⑧高齢化社会に対応したヘルスツーリズムの推進を
- ⑨地方創生事業を活用した取り組みができないか

【橋 本 正 彦 議員】

1. 第八次総合計画と市長二期目の政治姿勢について

(1) 今後の財政状況の見通し

- ①財政計画に対する市長の考えは
- ②幾つもの大規模事業に対する財政面の対応は

(2) 高山市公設地方卸売市場の今後

- ①高山市公設地方卸売市場の今後の方向性に対する市長の考えは
- ②議会の「政策提言」における「総合計画での位置づけ」「施設整備方針の早期決定」「運営体制等」への対応は

(3) 高山市民文化会館の建設

- ①高山市民文化会館建設についての市長の考えは

(4) 経済対策（新年度予算・第八次総合計画）

- ①新年度予算、第八次総合計画に経済対策はどのように反映されているのか、基本的な市長の考えとポイントとなる事業は

(5) 今後の経済軸である観光施策

- ①今後のインバウンド海外誘客についての市長の考えは
- ②北陸新幹線延伸に伴う誘客対応は

【中 田 清 介 議員】

1. 若者定住への環境整備について

(1) 起業インキュベート環境（起業家などへの支援・育成環境）の整備

- ①空き店舗や遊休公共施設の活用などにより、多くの職種に対応できる施設整備への道を打ち出すべきでは
- ②スタートアップ資金支援への方針を固め、制度融資ばかりでなくベンチャー支援ファンドについて市としての考えを打ち出すべきでは
- ③くらしと子育て支援との連携が必要。U I J ターン若者定住促進事業はもっと充実するよう見直すべきでは

(2) 複合的な政策パッケージ

- ①若い世代を呼び込むためには結婚・出産・子育てをかなえる暮らしへの支援をアピールすることが重要では

(3) 大学等との連携によるフィールドワークエリアの設定

- ①産官学連携を積極的に進めるべきでは
- ②サテライト拠点として、下町エリアなどはもっと活用できるのでは

2. 祭り行事と伝統産業へのてこ入れの必要性について

(1) 祭り行事

- ①祭り行事はこのままだと衰退する。人的、経済的支援の方策を打ち出すべきでは
- ②市民の合意形成に向け、対策委員会などを設立し話し合うべきでは

(2) 伝統産業

- ①伝統産業の衰退に歯止めをかけるため、貸付金制度充実ばかりでなく後継者育成の道筋を打ち出すべきでは
- ②祭り屋台の復元など未来への投資を進めるべきでは

【藤 江 久 子 議員】

1. 12月豪雪について

(1) 被害概況と対策

- ①今回の雪害による倒木の原因はどこにあるのか
- ②把握できている倒木被害の状況とそれ以外の状況の把握は
- ③処理されていない倒木の二次災害等が懸念されるが、市の対応は
- ④倒木の処理方法と活用方法は
- ⑤道路などを塞いだ切りっぱなしの倒木への対応について、市の補助策はあるのか
- ⑥雪下ろしによる転落等の事故の件数やけが人の状況は
- ⑦今後、温暖化の進展とともに降雪量の増加など考えられるが、雪害対策への考え方は

(2) 情報の提供と連携

- ①被災地域への情報提供はどのようにされたのか
- ②中部電力、警察、森林組合など関係機関との連携はどうであったか

(3) 災害時における職員の意識

- ①災害対策本部立ち上げ後、全職員にはどのように通達がされたのか
- ②災害時には特に寄り添う相談支援が必要であると思うが、対応はできたのか

2. 学童保育について

(1) 拡充に向けた課題と対策

- ①医療や介護等の分野では如実となってきたいる人材不足について、どのように認識しているのか
- ②子ども達が安全に放課後を過ごすことが脅かされている現代において、市はどのように支援していくのか
- ③学童保育の現状と、拡充のために障害となっている課題は何か
- ④学童保育を6年生まで可能にすることについて、学校現場において課題はあるのか
- ⑤学童保育の拡充に向けた市の考え方は

【谷 澤 政 司 議員】

1. 平和の日について

(1) 戦後70年の節目の年を迎えて

- ①戦後70年をむかえることについて市長の思いは
- ②平和サミットの意義と今後の開催は
- ③高山市遺族会に対する思いと協力を

2. 高山市公設地方卸売市場について

(1) 今後の方向性

- ①「道の駅」化して様々な地場製品の販売拡大につながる整備をすべきでは

3. 住宅エコ推進について

(1) 国の動きと市の方向性

- ①住宅エコ推進に対する国の動向は
- ②「環境と景気対策につながるエコ推進事業の復活を要望している」との市民の声に対する考えは

【若山加代子 議員】

1. 冬期における市民生活の安全対策について

(1) 除雪

- ①除雪に対する不満の声がある。除雪がよくないと市民が感じるのは何が原因となっているのか
- ②歩道の除雪が十分でなく子どもや高齢者が危険な思いをしたり車道を歩いていることもある。歩道除雪の改善についての考えは
- ③私道の除雪も市民生活の安全確保という観点から市道と同じように検討すべきではないか

(2) 雪下ろし

- ①今年度雪下ろしの相談は何件くらいあったのか。またその対応は
- ②積雪による住宅などへの被害の状況は
- ③雪下ろしに対する補助制度をつくるべきではないか

(3) 12月豪雪災害

- ①停電時に市民から寄せられた要望は。またその対応は
- ②災害時に情報提供を全世帯に確実に届けるために、自動起動防災ラジオの全世帯無料配布をすべきではないか

2. 市民参加のまちづくりについて

(1) 協働のまちづくり

- ①多くの市民に参加してもらうための取り組みは

(2) 新火葬場候補地選定

- ①現状は
- ②市民の願いである「新火葬場建設」実現に向け市民参加で候補地を決定すべきではないか

3. 子育て支援策の拡充について

(1) 学校給食費

①学校給食費の無料化を検討できないか

(2) 子どもの医療費無料化の拡大

①高校生までの医療費無料を検討できないか

【松 山 篤 夫 議員】

1. 人口問題について

(1) 将来人口と今後の対策

- ①人口構造が悪化する支所に対する対策は
- ②高山市のあるべき人口とその対策は

2. 観光戦略について

(1) 観光戦略における新たな視点

- ①トコトコ歩くまちづくりを
- ②観光基盤として坂・橋・横丁の整備を
- ③文学作品を観光という視点から活用できないか
- ④外国人観光客に高山文化をもっとPRすべきではないか
- ⑤外国人観光客に対する「おもてなし医療」の推進を

(2) 海外姉妹友好都市提携等の今後

- ①ウルバンバ郡やコルマール市等の提携・協定を今後どのようにして活かしていくのか

【山 腰 恵 一 議員】

1. 大学連携について

(1) 連携に向けた取り組み

- ①連携大学との第1回連絡会議における協議内容は
- ②教育分野との連携の現状と今後の推進は
- ③「産官学連携」についての現状と推進は
- ④「域学連携」による地域活力の推進を

2. 地方創生について

(1) 地方創生戦略の推進

- ①「地方創生人材支援制度」や「地方創生コンシェルジュ制度」を活用する考えは
- ②結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境整備の推進の考えは
- ③仕事をつくり出す地域産業の競争力強化、推進の考えは
- ④地方への新しい人の流れをつくる考えは

(2) 「田舎暮らし」の推進

- ①近年の移住状況は
- ②都市部への移住PRの状況とサポート体制は
- ③移住促進への今後の取り組みは

3. 青少年のインターネット利用等について

(1) 利用マナーの向上

- ①総務省によるインターネット・リテラシー指標等（情報ネットワークを正しく利用することができる能力指標）を踏まえ、青少年の情報ネットワーク利用をどう捉えるか
- ②青少年が安心・安全に利用できるマナー等の向上を図らなければならないと考えるが、どう取り組んでいくのか

【中 箴 博 之 議員】

1. 行政の裁量権について

(1) 許認可における裁量権

- ①市として裁量権をどうとらえているか
- ②裁量権行使の基準は明確か
- ③事後のチェックが効いていないのでは
- ④許認可権限の見直しの議論をすべきでは

2. まちの品格について

(1) まちの懐を深める取り組み

- ①まちの懐を深めるために由緒ある地名等に注目すべきでは
- ②市民が高山のよさをもっと知るための取り組みが必要では

3. 高齢化社会における雪対策について

(1) 雪対策の課題と方針・ルールの見直し

- ①除雪・排雪のルールは明確か
- ②冬期のバリアフリーをどう考えるか
- ③除雪業者への指導は適切に行われているか
- ④業者への委託方法を見直す考えは
- ⑤除雪注意世帯への配慮方法を検討すべきでは
- ⑥市営住宅内の雪対策ルールを見直す考えは
- ⑦全庁的な取り組みが必要なのは

【渡 辺 甚 一 議員】

1. 平成26年の災害について

(1) 災害への支援

- ①農地の復旧状況は
- ②滝町の棚田への支援は
- ③停電地区に対する対応は十分だったのか

2. 米のブランド力について

(1) 米の有利販売策

- ①平成26年度産米の販売状況は
- ②政府備蓄米の契約状況は
- ③有利販売の取り組み状況は

【松 葉 晴 彦 議員】

1. 小中学校教育について

(1) 飛騨高山ジュニア観光大使

- ①東小学校が行っている修学旅行時の高山市PR活動の実態は
- ②修学旅行前の児童の調査研究への支援は
- ③他の学校への波及についての見解は

(2) 全国学力テストの結果

- ①高山市小中学校の結果は
- ②高山市の年次別推移は
- ③平成26年度の結果による課題は
- ④今後（平成27年度）の取り組みは
- ⑤ゲーム時間と成績との関連は

2. 12月大雪被害と対策について

(1) 被害実態の早期把握と対策

- ①林道・農道の倒木と道路の崩壊は
- ②パイプハウス、果樹被害は
- ③観光施設、指定管理施設等の自主除雪費の対応は
- ④災害緊急時の復旧体制は

3. 支所地域の災害と広域観光について

(1) 平成26年8月豪雨の復旧状況

- ①清見地域、特にせせらぎ街道沿線における被害の実態は
- ②復旧事業の進捗状況は
- ③復旧完了予定は

(2) 隣接地域との連携による観光PR

- ①地域振興特別予算終了に伴う「せせらぎ街道を愛する会」「荘川清見地域観光客誘致協議会」の今後の方向は

【今 井 武 男 議員】

1. 療育について

(1) 要支援児への対応と支援の在り方

- ①児童福祉法による給付を必要としている児童に関する市の現状は
- ②全国的にも療育を必要としている子供が増加していると聞いているが、市の考えは
- ③療育施設の環境整備にもっと力を入れるべきではないか

2. ものづくり産業について

(1) 伝統的なものづくり産業の継承

- ①後継者の育成についての考えは
- ②飛騨の匠認定制度について、認定後の活用策は
- ③伝統的工芸品産業振興計画の策定についての考えは
- ④国内外に向けた販路拡大についての考えは

3. 消防団員について

(1) 確保対策

- ①大規模な自然災害が各地で発生しており、地域防災対策の確立が課題と思うが、消防団員の確保についての考えは

【岩 垣 和 彦 議員】

1. 高山市における「地方創生」について

(1) 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

- ① 「地方版総合戦略」に新たな独自要素をどう盛り込むか
- ② 「地方版総合戦略」の計画期間は5年とされている。その中で、どのような地域再生の方法が考えられるのか。また、その評価をどう行うのか
- ③ 今後の地域づくりにおいては、「協働のまちづくり」と「地方創生」が必要だが、融合するためには何が必要か

2. 災害対応について

(1) 大雪による被害への対応

- ① 停電により水道管凍結防止が困難となった事例がある。その場合における水道料金は
- ② 電気・情報通信機能が分断された場合の市民への情報提供は

【小井戸真人 議員】

1. 自治基本条例について

(1) 自治基本条例に対する市の考え

- ①これまでの議会答弁と市における検討状況は
- ②協働のまちづくりがすすめられる中で、自治基本条例の必要性は増していると考えられるが、条例制定に対する市の考えは

2. 行財政改革について

(1) 高山市第6次行政改革大綱

- ①第5次行政改革において積み残された課題は
- ②人口減少に直面する中での第6次行政改革大綱における新たな課題は
- ③高山市行政改革推進委員会からの答申内容は
- ④採用の抑制によって職員の年齢構成に大きな課題がある中で、中長期的な展望を持った職員採用の考えは
- ⑤職員の健康管理と職場環境づくりは